県防災訓練に1,000人参加

香美市消防団による積み土のう工訓練

6月6日、南国市・香南市の物部川河川敷を主会場に、県総合防災訓練と地域防災フェスティバルが同時開催され、市・消防・自衛隊・企業など約80の組織と住民約1,000人が参加しました。

訓練は県内5ブロックの持ち回りで、今回は県防災会議と香美市を含む7市町村防災会議の主催で行われ、35回目となりました。

南海地震・風水害を想定し、香美市消防団による積み土のう工訓練、アマチュア無線局（香北町谷相）による非常通信訓練等が行われ、物部町神池地区では道路寸断等での孤立を想定し、5月31日に物部町神池に完成した神池ヘリポートを使用し、医薬品搬送訓練が行われました。

医薬品搬送訓練（物部町神池）

倒壊家屋被災者救出訓練

副市長交代・教育長再任

副市長・教育長の任期満了に伴い、石川晴雄前副市長が勇退し、副市長に明石猛元収入役が選任され、教育長には明石教育長が再任されました。

昭和48年から香北町役場で勤務し、平成5年11月から平成18年2月まで香北町助役。同年5月から平成22年3月まで香美市収入役。任期は5月25日から4年間。香北町韮生野。

副市長　明石猛（61歳）

香美教育事務所長、山田小学校長などを経て平成20年4月から香美市教育長。任期は5月26日から4年間。土佐山田町久次。

教育長　明石俊彦（64歳）

平和への願いをこめて

5月21日、中央公民館で香美市戦没者追悼式がしめやかに執り行われ、遺族ら約160人が参列しました。

式では、戦没者に黙とうをささげた後、参列者が次々と献花をしました。遺族らは、めい福を祈るとともに、あらためて平和への願いをこめて、祭壇に向かって手を合わせていました。

香美市の戦没者は2,000余人です。

留学生も参加！一斉清掃

一般廃棄物処理場（土佐山田町楠目）に運び込まれるゴミ

6月6日、土佐山田町内で一斉清掃が行われました。早朝から、各地域では側溝の泥上げや、樹木の枝打ちが行われ、2tトラック71台・軽トラ22台合計約71tのゴミが回収されました。

同日、香美市国際交流協会（会長＝依光隆夫）の主催により、高知工科大学の留学生18名らにより、物部川堤防沿いを中心に市内の清掃が行われました。

参加者は、高知工科大学楠目寮を徒歩で出発し、町田堰～戸板島橋までのルートを清掃し、空き缶やペットボトルなど、軽トラック半車分のゴミが集まりました。

留学生による清掃

高知トヨペット桜苗木贈呈

5月11日、秦山公園歴史の森（土佐山田町植）で、ふれあいグリーンキャンペーン桜苗木贈呈式が行われ、関係者約20人が参加しました。

このキャンペーンは、高知トヨペット株式会社が環境保全・緑化活動の一環として、県内各地で植樹事業を行っており、今年で35回目となります。

式では、**みどりの大使**である**ミスワールド日本代表**の松永博子さんがメッセージを伝達したあと、ソメイヨシノの苗木（40本）が香美市に贈呈され、8本が植樹されました。苗木はこのほか八王子公園にも植樹されました。

地域の見守り強化

「土佐香美農業協同組合管内における地域の見守り活動に関する協定書」締結式

6月1日、JA土佐香美本所（香南市）で、地域の見守り活動に関する協定が結ばれました。

この協定は、JA土佐香美管内で、高齢者や支援が必要と思われる世帯や子どもの安全などの見守り活動を行うことを目的に、JA土佐香美と香美市・香南市の民生委員児童委員協議会連合会および香南市・香美市の間で締結され、地域で発生する様々な問題の早期発見に向けて相互に協力することが確認されました。

伝統文化を伝えていけばなこども教室

5月29日、中央公民館で**伝統文化いけばなこども教室**が開講されました。

この教室は、子どもたちに日本の風土に育まれてきた生け花の素晴らしさや、生ける楽しさを体験してもらおうと、**伝統文化いけばなこども教室実行委員会**が文化庁の委託を受けて行っており、今回で5回目になります。教室には小学1年生から6年生までの33名が参加し、全12回の教室が予定されています。教室では、花材を家族に例えて、楽しく生け花に取り組んでいました。